

お知らせ

平成 16 年度後期 フォトン・ファクトリー研究会の募集

物質構造科学研究所副所長 松下 正

物質構造科学研究所放射光科学研究施設（フォトン・ファクトリー）では放射光科学の研究推進のため、研究会の提案を全国の研究者から公募しています。この研究会は放射光科学及びその関連分野の研究の中から、重要な特定のテーマについて1～2日間、高エネルギー加速器研究機構のキャンパスで集中的に討議するものです。年間6件程度の研究会の開催を予定しております。

つきましては研究会を下記のとおり募集致しますのでご応募下さいますようお願いいたします。

記

1. 開催期間 平成 16 年 10 月～平成 17 年 3 月
2. 応募締切日 平成 16 年 6 月 18 日（金）
〔年 2 回（前期と後期）募集しています〕
3. 応募書類記載事項（A 4 判、様式任意）
 - (1) 研究会題名（英訳を添える）
 - (2) 提案内容（400 字程度の説明）
 - (3) 提案代表者氏名、所属及び職名（所内、所外を問わない）
 - (4) 世話人氏名（所内の者に限る）
 - (5) 開催を希望する時期
 - (6) 参加予定者数及び参加が予定されている主な研究者の氏名、所属及び職名

4. 応募書類送付先

〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所事務室
TEL：029-864-5635

* 封筒の表に「フォトン・ファクトリー研究会応募」と朱書のこと。

なお、旅費、宿泊費等については実施前に詳細な打ち合わせのうえ、支給が可能な範囲で準備します（1 件当たり上限 50 万円程度）。

また、研究会の報告書を KEK Proceedings として出版していただきます。

旅費支給手続き変更のお知らせ

旅費支給希望者の方はこちらへ来た証拠としてサインが必要ですので必ず事務室にお立ち寄り下さい。2004 年 4 月 1 日よりサインを忘れてお帰りになりますと、旅費の支給ができないことがあります。

事務室前廊下側のカウンターに「出張者一覧」ファイルが置いてありますので、その中の「出張者リスト」にサインをお願いします。土日及び夜間も出しておきますので、ご都合の良い時にお立ち寄り下さい。「出張者リスト」にお名前がない場合は、箱の中の「出張日程確認書」にご記入の上、箱の中に入れておいて下さい。

問い合わせ先：放射光科学研究施設事務室
Tel:029-864-5635, Fax:029-864-2801

非常通報装置の設置と運用について

放射光科学第一研究系 伊藤健二（安全担当）

すでにお知らせしておりますように、「非常通報装置」を設置し、4 月上旬から運用が開始されました。本装置は、「通報ボタン」を押すと、プリセットされた 3 回線（PF 地区放送、PF-AR 地区放送、運転当番が基本セットです）に順次自動的に電話をかけ、予め録音しておいたメッセージを流す装置です。メッセージは以下のとおりです。「非常通報です。〇〇〇〇〇で非常通報ボタンが押されました。繰り返します。〇〇〇〇〇で非常通報ボタンが押されました。」本装置は、とりあえず人口密度が比較的低い箇所を選び、PF 研究棟 1F、実験準備棟、PF-AR 地区（実験棟、準備棟およびコンテナ）、低速陽電子実験室、光源棟地下・リングトンネル、RI 施設に設置しました。光源棟実験ホール内は常時人口密度が高いため、第 2 期計画に持ち越しになっています。非常通報装置本体の赤い「通報ボタン」を押すと動作します。また、装置の子機として離れた場所



左：非常通報装置本体
右：子機スイッチ

に設置されている場合もあります。子機の場合はカバーを開けて「通報ボタン」を押してください。本装置は既設電話につながんでありますので、通報中は該当部分の電話機は使えなくなります。該当電話で通話中に「通報ボタン」が押された場合も通話不能になります。間違って装置を起動させた場合や、電話を使用したい場合には非常通報装置本体にある「取り消しボタン」を2秒以上押してください。

なお、本装置を起動させてもビームダンプを起こしたり、火災報知器が鳴ることはありません。状況に応じてそれらの操作も同時に行ってください。この「非常通報装置」が起動された場合、加速器運転中であればどなたかが「通報ボタン」が押された現場に駆けつけてくれます。加速器停止期間中の夜間あるいは休日には守衛所へ直接連絡していただいた方が確実です。

人事異動・新人紹介

	発令年月日	氏名	現職	旧職
(昇任)	H16.3.15	鈴木 守	大阪大学蛋白質研究所附属 プロテオミクス総合研究センター 助教授	物構研 物質科学第二研究系 助手
(停年)	H16.3.31	小林 正典		物構研 放射光源研究系 主幹
	H16.3.31	三国 晃	再雇用職員	技術部 技術部長
(辞職)	H16.3.31	桂 共太郎		物構研 放射光源研究系 助教授
	H16.3.31	中川 武志	金沢大学理学部地球学科 研究生	物構研 物質科学第二研究系 研究機関研究員
	H16.4.15	山崎 才弘		物構研 物質科学第一研究系 研究機関研究員

予 定 一 覧

2004 年

6月14～16日	高エネルギー加速器研究機構 総合研究大学院大学「夏期実習」
6月18日	平成16年度後期フォトン・ファクトリー研究会公募締切
7月1日	PF、PF-AR 平成16年度第一期ユーザー運転終了
7月20日～21日	PF・KENS 合同研究会「ナノサイエンス・テクノロジーと放射光／中性子反射率法」
7月23日	PF-AR, KEKB 地区停電
7月24日～25日	全所停電
8月29日	高エネルギー加速器研究機構 一般公開
9月17日	平成17年度前期共同利用実験課題（S型）申請締切*
11月5日	平成17年度前期共同利用実験課題（G型・P型）申請締切*
8月4日～6日	日本加速器学会年会

*2005年3月から9月の間にリングの改造作業を行うため、2005年度は今年と比較して4月から6月の実質約2ヶ月の実験時間（実質約2.5ヶ月の運転）が例年より少なくなる見込みです。平成17年度前期共同利用実験に申請するPFリングを使用する課題についてはご留意下さい。

最新情報は <http://pfwww.kek.jp/spice/getschtxt> でご覧下さい。

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所教員公募（公募番号 物構研 04-1）

本機構では、下記のとおり教員を公募いたしますので、貴関係各位に御周知いただき、適任者の推薦または応募をお願いいたします。

1. 公募人員及び職種

助手 1名（任期なし）

本機構の教員は、教授、助教授及び助手で、教育職本給表が適用されるが、機構の性格から、大学における講座制とは異なる運営が行われる。また、本機構の教員の定年は63歳である。

2. 研究分野及び研究内容

放射光科学研究施設ではPF、PF-ARにハイスルーブット構造生物学研究用ビームライン・実験装置を整備し、共同利用実験を行うとともに放射光を用いた構造生物学研究を行っている。本公募では構造生物学研究用ビームライン・実験装置の高度化・技術開発・共同利用支援を行うとともに、これらの施設を用いて「翻訳後修飾と輸送」に関連するタンパク質群のX線結晶構造解析を行う意欲のある若手研究者を求めている。

3. 公募締切

平成16年5月28日（金）

4. 着任時期

採用決定後できるだけ早い時期

5. 選考方法

原則として面接選考とする

6. 提出書類

- (1) 履歴書——通常の履歴事項の後に、①応募する公募番号（2件以上応募の場合はその順位）及び②可能な着任時期を明記すること。また、メールアドレスがある場合は明記すること。
- (2) 研究歴
- (3) 着任後の抱負
- (4) 発表論文リスト——和文と英文は別葉とし、共著の論文については、共著者名をすべて記入すること。また、提出する論文別刷の番号には○印を付すこと。
- (5) 論文別刷——主要なもの、5編以内
- (6) 本人に関する推薦書または参考意見書

上記の書類は、履歴書用紙を除き、すべてA4判横書きとし、それぞれ別葉にすること。
なお、各葉に氏名を記入すること。

7. 書類送付

送付先 〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1
大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
総務部庶務課人事労務室人事第二係
封筒の表に「教員公募関係」と朱書きし、郵送の場合は書留とすること。

8. 問い合わせ先

- (1) 研究分野及び研究内容等について
研究主幹 河田 洋（放射光科学第二研究系） TEL 029-864-5634（ダイヤルイン）
- (2) 提出書類について
総務部庶務課人事労務室人事第二係 TEL 029-864-5118（ダイヤルイン）

9. その他

本公募で採用された者は物質構造科学研究所内の構造生物学グループ（若槻壮市教授、加藤龍一助教授、五十嵐教之助手、松垣直宏助手、川崎政人助手、平木雅彦助手）の一員として研究活動を行う。同グループの研究内容についてはhttp://pfweis.kek.jp/index_ja.htmlを参照。